

# ばんだいトマト生産部会の 発展に向けて



会津農林事務所農業振興普及部

## 1 背景

〈ばんだいトマト生産部会の概要〉

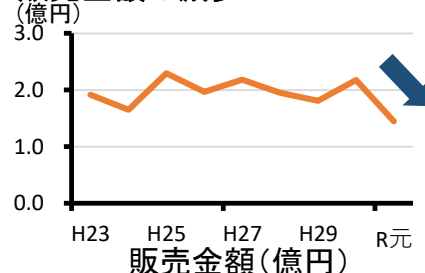
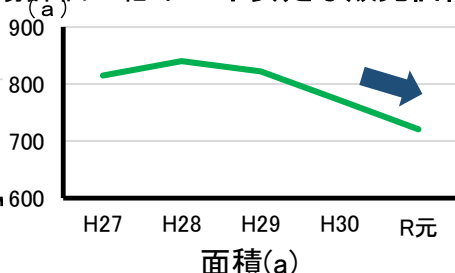
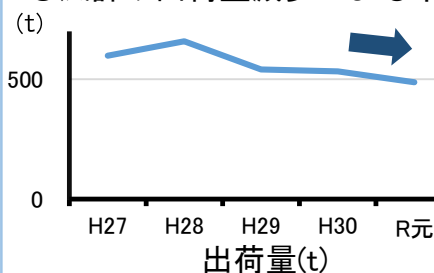
- S32年に猪苗代町長瀬地区でトマトが導入されたのが始まり  
⇒60年以上の歴史を持つ
- 現在は会津若松市湊町、磐梯町、猪苗代町の3地区で生産  
⇒生産者46名、栽培面積721a、販売金額144,930千円（R元年）
- 標高500m以上の高冷地の高品質なトマトは高評価  
⇒県内平均より高単価販売  
当部会347円/kg（県内平均333円/kg）※H29～R元の平均



部会のエリア

## 2 課題とねらい

- 近年の異常気象 + 新規栽培者・若手栽培者の単収の伸び悩み→品質・出荷量低下
- 高齢化による離農や規模縮小→面積減少
- 風評や出荷量減少による市場評価の低下→不安定な販売価格・販売金額の減少



**産地の存続の危機！！！！**

今後の産地の維持・発展のためには

- 収量確保と低単収者の底上げ
- 新規栽培者の確保
- 安心・安全で持続可能な産地の確立

## 3 活動内容

(1) 収量確保に向けた技術支援

ア 品種選定支援

- ・H22まで「桃太郎サニー」…10月以降の裂果で出荷量減少  
→H23から「りんか409」を試作導入し、生育調査+アンケート調査による特性把握から栽培技術を確立



生育調査

## イ 樹液診断実施

- ・葉柄の硝酸態窒素濃度・カリウム濃度・糖度測定による診断を部会役員と連携して7・8・9月に3回実施し、データに基づく**肥培管理技術の定着促進**



樹液診断

## ウ 新技術の導入推進

- ・出荷量の変動を抑えるため、遅植え作型（7月定植）試験ほ場設置による**作期分散効果の確認・提案**
- ・ミストかん水による高温対策技術の調査研究を実施



新規栽培者指導会

## (2) 関係機関と連携した新規栽培者確保・重点支援農家指導

- ・市町・JAと連携した新規就農や新規栽培者の相談会を実施
- ・基本技術定着を目的とした新規栽培者**指導会の実施**
- ・新規栽培者等を重点支援対象と位置づけ、JAや肥料会社等と連携し**重点的に指導し意識向上**（月1回以上）

## (3) 安全・安心な産地づくりの推進

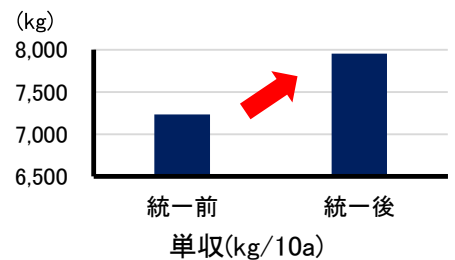
- ・GAP担当と連携し、販売実績検討会や役員会でのGAPの重要性周知と**認証取得の推進**
- ・R2年4月に部会員6名が取得を目指し「GAP班」が結成され、定期的な勉強会の開催、第三者認証GAP管理点と適合基準の巡回指導

# 4 活動成果

## ○技術支援による収量アップ

- ・作付品種の統一 「桃太郎サニー」→「りんか409」
- ・樹液診断の結果を参考にした施肥効率の向上
- ・作型分化による作業分散と9月以降の収量確保  
⇒**平均単収の底上げ!**

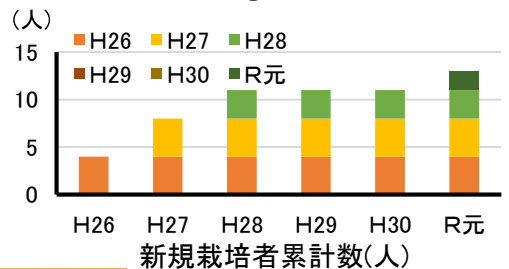
(統一前 7,232kg/10a → 統一後 7,952kg/10a)



## ○新規栽培者の増加

⇒**13人の新規栽培者を確保!** (H26~R元の累計)

- ・R2は重点支援農家6名中4名が単収向上



## ○JGAP団体認証取得と販路拡大

- ・R2年8月に審査受検
- ⇒**R2年11月に認証取得!**
- ・小売業者とのマッチングにつなげ販路拡大



JGAP 認証書



農場の審査

# 5 今後の活動

- 生産安定に向けた支援の継続
- 新規栽培者及び組織活動支援
- 認証GAP取得人数を増やし、持続可能なトマト生産を推進

